

H24 年度前期教養科目群の授業評価アンケート結果の通知について

全学共通教育センター長 荒木秀夫

平成 24 年 7 月から 8 月に実施しました全学共通教育の学生による授業評価アンケートの結果がまとまりましたので、ここに報告いたします。アンケートの実施にあたってご協力賜りましたこと、御礼申し上げます。

今回お知らせする内容は、次の4種類です。

- 1) 平成 24 年度前期教養科目群の授業評価アンケート結果
- 2) 担当教員別の「学生による授業評価アンケート結果」
- 3) それらの結果を全体と比較したグラフ
- 4) マークカード(裏面の自由記述をご覧ください。)

ご覧いただくと判りますように、今回の授業評価アンケート結果の通知にあたりましては、それらを全体や中間アンケートの結果と比較ができるように配慮しました。これは、アンケート結果をできるだけ多角的・総合的な視点から把握していただき、今後の授業改善に役立てていただきたいと考えたからです。授業評価アンケート結果の見方と総評については、次のページをご覧ください。

大学教育に関しては教育目的・目標の明確化やその到達度、さらに教育(授業)方法の改善や成績評価の適正化が強く求められています。こうした状況の下で、「学生の多様な個性を尊重し、人間性に富む人格の形成を促す教育」を教育理念に掲げる徳島大学全学共通教育においても、教養教育として質的・量的にさらに充実した授業の提供を目指しているところです。

各授業担当者におかれましては、こうした状況を斟酌いただくとともに、今後とも全学共通教育の実施にあたってご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、学生による授業評価アンケート結果ならびに成績評価については、授業改善の一環として、科目別に全学共通教育FDやウェブ上で順次公表していく予定であります。この点についてもご意見があれば、共通教育係までご連絡いただければ幸いです。

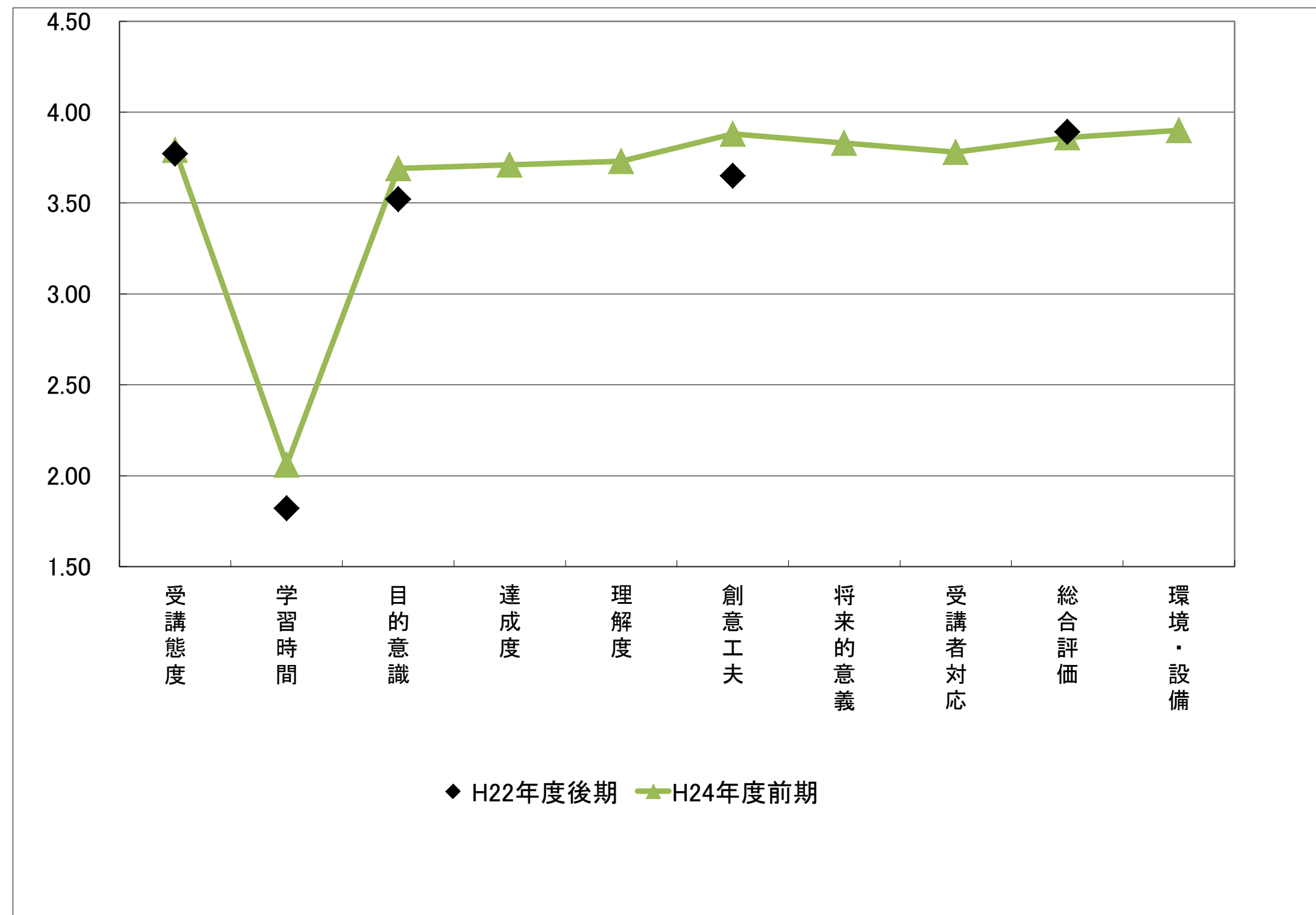
H24 年度前期教養科目群の授業評価アンケート結果の見方と総評

全学共通教育センター長 荒木秀夫

- 1) 平成 24 年度前期の教養科目群の総授業数は 89 コマで、アンケートが実施された授業数は 74 コマ、実施率は 84.27%でした。因みに、中間アンケートの実施率は 94.38%でした。
- 2) 授業評価アンケート結果の中段にある「アンケート結果表」は上段左に記載してある質問項目に対する学生の回答の度数分布表です。「未」は無回答あるいは記入ミスと思われる回答の数です。
- 3) 下段では、中間アンケートの結果と、中間・期末アンケートの結果を共通または類似の項目において比較した表とグラフを示しました。
- 4) 裏面は、全体の平均と当該授業の値をグラフに示し、比較したものと、自由作成項目の実際の作成例（一部）です。なお、学生の教員に対する評価（項目 3～9）の諸設問は、「学生が選ぶ優れた授業」選考のために用いられます。この部分の設問の評価値平均で比較し、上位の授業（回答者数 5 名未満の授業を除く）の担当教員は表彰され、その教員名と学生の自由記述のいくつかが全学共通教育センターのホームページ (<http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/ceducom/sugureta.html>) で公開されます。

平成24年度前期授業評価アンケート結果(全体集計)

学生による授業評価アンケート結果(質問項目は別紙に掲載)											教員による自由作成項目	
期末アンケート 回収率: 84.27%	受講態度	学習時間	目的意識	達成度	理解度	創意工夫	将来的意義	受講者対応	総合評価	環境・設備	教員独自の例:	使用率: 9.3%(7/75件)
H22年後期 教養科目群	3.77	1.82	3.52			3.65			3.89		自己表現について理解を深めることができた。 自主的に学習できた。	
H24年前期 教養科目群	3.79	2.06	3.69	3.71	3.73	3.88	3.83	3.78	3.86	3.90	グループワークは有効でしたか。 他学部の受講生から刺激を得ることがありましたか。 扱う内容の範囲は十分でしたか。	
											扱う内容のレベルは適当でしたか。 社会人の参加は有意義だと思いますか。 心理検査や課題(ワークショップ)の数は適切でしたか。 グループ・ディスカッションは有意義だと思いますか。 意見文を書いて、グループ内でコメントし合うことは有意義だと思いますか。 検査や課題(ワークショップ)の数は適切でしたか。	



	受講態度	目的意識	創意工夫	総合評価
中間	3.79	3.68	3.64	3.78
期末	3.76	3.69	3.68	3.86

